Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.20, April 2018
http://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2018
vol.20
静岡大学情報学部

行事報告

Report of events

新講義棟落成記念式典

情報学部副学部長　小西 達裕

共通講義棟(2017年10月14日)

2016年度より情報学部に新学科（行動情報学科）が設立され、学生定員も学年あたり40名の増となりました。これによる教室数の不足に対応するため、情報学部2号館の東側にあった2階建ての講義棟を取り壊し、新たに5階建ての講義棟を建設しました。1年間にわたる工事期間の後、2017年9月末に落成に至り、同年10月より授業等での使用が開始されました。この新講義棟は城北キャンパス最大となる280名を収容できる大教室をはじめ、先端的な学習教育法であるアクティブラーニングに適した設計の教室（2フロア）、地球環境保護に貢献する屋上大規模ソーラーパネルなど、これからの本学における学習教育を一層向上させるための数々の設備が整っています。また1階教室は、放課後を含む授業時間外に学生が自由に自習やグループ学習に利用できるスペース（ラーニングコモンズ）として開放されています。

本講義棟の完成を記念して、2017年10月14日（土）に落成記念式典が開催されました。本式典では本学石井潔学長による挨拶、近藤真情報学部長による教室設備の紹介などに続き、大学関係者と学生代表によるテープカットが行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、式典に参加した皆様の誰もがこの講義棟を舞台とした本学の未来に思いをはせ、晴れやかな表情で大きな拍手を送ってくださいました。

新講義棟の設備は、テクノフェスタや大学際、公開講座など大学と市民の皆様の交流イベントにも活用されます。その折にはぜひ本学にお越しいただき、当キャンパスの新しい教育環境をご覧ください。

落成記念式典(2017年10月14日)

情報学シンポジウム2017「情報と学び― 情報学が変える学び、学びが変える情報学 ―」開催

実行委員会　宮崎 真

平成29年10月14日(土)、浜松キャンパス共通講義棟の落成を記念して情報学シンポジウム2017を開催しました。その新しい講義棟は、アクティブラーニング室を2フロア設けるなど、情報技術が急速に発展するなか、未来を担う人材を育成することを目指してデザインされました。本シンポジウムは、その狙いを表すべく「情報と学び ― 情報学が変える学び、学びが変える情報学 ―」と題して催されました。

シンポジウムは、浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター長の伊東幸宏先生の招待講演で幕を開け、それに続き、本学部教員らが「人工知能(機械の学び)」、「地域との学びの連携」、「アクティブラーニング」といった話題を提供しました。その結びのパネルディスカッション「情報学から読み解く10年後の“学び”」では、会場からも積極的なご意見をいただけて、未来の“学び”の在り方を議論する場となりました。

講演・パネルディスカッション(2017年10月14日)

また、本シンポジウムでは「カフェ＆ポスターセッション」も催し、本学部の学生達が日々の学び(研究)の成果や進捗を発表しました。このセッションでは、協賛各社や珈琲研究会のご協力により、お菓子やコーヒー / お茶を参加者皆さまに提供し、リラックスした雰囲気でありながら熱気溢れる催しとなりました。

当日は学内外から250名を超える方々にご参加いただき、今後の本学部の学びの在り方を構想するための貴重な場となりました。参加者の皆さま、そして協賛 / 後援の各社 / 店 / 団体の皆さまに心より御礼申し上げます。

シンポジウム会場の様子(2017年10月14日)

テクノフェスタ in 浜松

テクノフェスタイン浜松実行委員会　小西 達裕　峰野 博史

テクノフェスタ in 浜松は一般市民の皆様を対象とし、情報学と工学に関する技術・学術の最先端情報に触れていただける多数の展示、研究室公開、体験型実験イベントなどからなる年に一度の催しです。　浜松キャンパスの教職員と学生の皆さんが一体となって運営に取り組んでいます。

平成 29 年度テクノフェスタ in 浜松は 2017 年 11 月 11 日（土）・12 日（日）の両日にわたって開催され、２日間で約１万人の来場者がありました。例年同様に西部キャンパス大学祭（静大祭 in 浜松）と同日開催であったことから、キャンパス内は学生サークル主催の露店や音楽ライブイベントなどで活気あふれる２日間となりました。

情報学部では工学系から人文社会系まで様々なテーマのイベントが開催され、ご参加いただいた皆様からは、「情報学」の幅広さに触れることができたとのご感想をいただいています。イベントに参加したたくさんの小中学生の皆さんが初めて見る情報学の世界に目を輝かせていたことも印象的でした。

例年、情報学部保護者懇談会・公開市民講座・秋季オープンキャンパス等とも同日開催となりますので、これらの催しにお越しいただいた際には是非テクノフェスタ・学園祭にもご参加ください。

テクノフェスタ in 浜松 & 静大祭　の映像はインターネットで公開されています。以下の URL からご覧いただけます。

静大 TV　　http://sutv.shizuoka.ac.jp/video/217/1593

ホームカミングデー

同窓会ワーキンググループ　岩崎 一孝

2017 年 11 月 11 日（土）16 時 30 分より２時間ほど、情報学部２号館大会議室において、第８回ホームカミングデーが開催されました。

今年度も、同窓生、院生、学部生、退職された教職員、在職教職員合わせて 60 名近くが集まり、お酒やオードブルを楽しみながら、交流を深めました。今年の特徴は、院生や学部生が 16 名ほど参加して、先輩との交流を深めたほか、退職された山村英子さんにもお越しいただき、情報学部設立当初の懐かしいお話を聞けたことだと思います。

浜松工業会から、会長代理として工学部の江間 義則先生にお越しいただき、ご挨拶をいただくことができたほか、浜松支部　広報委員長の芥川豊秋さん、広報副委員長　野中詠一郎さんにもお越しいただき、昔の浜松キャンパスの様子などもお伺いでき、とても有意義な同窓会になりました。

昨年 10 月に新講義棟が完成し、後期授業から使い始めています。この新講義棟を見学がてらに、来ていただけた卒業生も多かったようです。同窓会の様子は、facebook の情報学部同窓会のページでも見ることができますので、是非、情報学部同窓会のページをご覧ください。(URL: https://www.facebook.com/ShizuokaUnivJohogakubuDosokai/
または、facebook ウェブページにて、「静岡大学情報学部同窓会」で検索)

＜静岡大学未来創成基金＞静岡大学浜松キャンパス講義棟整備特定基金への御寄附の御礼

平素は、本学ならびに情報学部・情報学専攻等の教育研究活動に対しまして深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。また，静岡大学浜松キャンパス講義棟整備特定基金に対しまして，多くの方々から多額の御寄附を頂戴しましたこと、重ねて御礼申し上げます。

おかげさまで，2017年9月に新講義棟を竣工することができました。御寄附の趣旨に沿うよう有効に活用し、人材養成や社会連携等を通じて、社会に還元させていただく所存でございます。

今後とも、より一層の御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

情報学部長・情報学専攻長　近藤 真

興味のあることを研究に

CS プログラム　情報科学科　西堀 遙輝

私は、「ツンデレ」コミュニケーションにおける信頼関係の構築モデルの検討について卒業研究で取り組みました。どうして「ツンデレ」が卒業研究のテーマに？実は昨年、私が「ツンデレ」という本心とは裏腹な態度をとってしまうキャラクタ性に興味があることを先生にお伝えすると、先生の反応は意外にも「それは面白いな。じゃあ西堀君の卒業研究のテーマはそれだ」と。自分の興味があることや好きなことが自分の研究テーマになるのか！？そのときの嬉しさと衝撃は今でも新鮮に覚えています。情報科学科に入学したときには、きっとひたすらプログラミングばっかりやるんだろうな、と思ってました。実際はもちろんプログラミングなど ICT に関連する勉強はたっぷりやりました。しかしその一方で、人間の認知メカニズムに関することやマーケティング、言語のことなど ICT 以外にも私が興味をもっていたことも学べました。そして４年間の集大成となる卒業研究で、自分が一番興味をもっている「ツンデレ」について学術的に取り組むことができました。３月にはこの研究成果を国内の研究会で発表し、４月からは大学院に進学します。もちろん大学院でも「ツンデレ」研究でもっと大きな成果を挙げたいと考えています。

シリコンバレーからの遠隔講義から学んだこと

IS プログラム　情報社会学科　中山 駿

私は研究室活動の一環として参加した先端情報学実習が思い出に残っています。この講義では学生が国際的な視野や起業意識を持つためにシリコンバレーで実際に起業した人が講師となり講義を行います。
現在、日本の若者の起業意識が先進国の中でも低い水準にあり、日本経済の衰退が懸念されています。かく言う私も起業意識が低い若者の一人です。企業に対して、過酷なイメージと事業を失敗したときのリスクから、起業を考えたことはありませんでした。しかし、シリコンバレーの講師の方が「人生一度きりだから楽しく悔いのないことをしたい」と起業経験やチャレンジする楽しさを活き活きと話してくださいました。この話を聞き、起業への抵抗感が少しなくなり、興味を抱きました。また、他の受講者の学生にも影響を受けました。同年代で起業を考え受講している人の考え方は、新鮮で非常に刺激を受けました。このような刺激を受けた結果、ビジネスコンテストに参加したり、海外や起業の情報を得たりと積極性が身についたと感じます。
卒業後、私は就職します。今後、起業をするかはわかりませんが、シリコンバレーの方のように悔いのない人生を送りたいと考えます。

世界の見方

ID プログラム　情報社会学科　篠原 由佳

水族館や美術館等の博物館施設に行くことが好きだったため、入学後、情報学部で取得可能な「博物館学芸員資格」を取ることにしました。博物館の目的やあり方、今後の発展などの知識を得ていく中で、博物館は「情報」を人々に届ける役割を果たしていると強く感じるようになりました。そこに情報学部で学んだ、情報とは何か、どのように伝播するのか、どのように提示・保護すべきか、ということが繋がった時、世界の見え方が変わった気がしました。例えば土器、例えば絵画、例えば生物。それらは全て情報の集合体であり、博物館はその情報の翻訳をしているのです。１つ１つに付けられたキャプションも、均一に調整された光も、幾度と無く計測する水温も、全て情報が核となって資料を輝かせるのだと実感しました。
私は在学中に様々な博物館施設に行きました。単純に展示物を見ることは勿論、施設ごとの情報提示の仕方に個性や魅力を体験したとき、情報学部で得た知識が世界を広く見せているのだと感じます。様々な分野から情報を追求する学部だからこそ、「知る」という自由を発見できたのだと思いました。

アイディアコンテストに情熱を注いだ大学生活

総合科学技術研究科 情報学専攻　道原 健太

私は学部３年生の時、静岡大学湯浦研究室が主催するビジネスコンテストに参加し、アイディアを磨くことやビジネスプランを相手に伝える楽しさを知りました。それ以降「もっと魅力あるアイディアを立案したい」「自分が経験した楽しさを多くの人に知ってもらいたい」という思いをもと、Startup Weekend 浜松やハママチューンなどといった浜松地域で行われているアイディアコンテストの参加や運営を行いました。参加や運営を行うにつれて、魅力的なアイディアを作る方法やイベントを運営する知識を習得することができ、とても有意義な学生生活を過ごす事ができました。
また様々な挑戦を行う中で多くの学生や社会人の方と出会いそして共に活動していくことで、上手くいかない時や悩みがある時に、抱えている問題について熱く語り合い協力して解決に当たってくれる仲間がたくさん出来たことが私の大学生活の一番の宝です。社会人になってからも常に「Action」を起こすことを忘れずに様々なことに取り組んでいきたいと思います。

2017年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室　西村 雅史

2017年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持することができました。学生の個別の希望や資質に応じて一人一人丁寧に行なった就職指導の成果と言えるでしょう。2018年2月28日現在で、表のように学部99.3%、研究科96.7%の内定率となっています。未内定の学生にも3月下旬の卒業・修了まで就職活動の支援を引き続き行います。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率
情報学部	情報科学科	108	56	55	49	98.2%	45.4%
	情報社会学科	93	79	79	12	100.0%	12.9%
	計	201	135	134	61	99.3%	30.3%
総合科学技術研究科情報学専攻		61	60	58	1	96.7%	1.6%

情報科学科・情報社会学科の主な就職先（研究科を含む）

情報科学科	情報社会学科	総合科学技術研究科情報学専攻
アイシン・エイ・ダブリュ	厚生労働省	ＮＴＴ
アイネス	静岡県庁	ＮＥＣ
伊藤忠テクノソリューションズ	磐田市役所	オムロン
内田洋行	インテック	トヨタ自動車
ＳＣＳＫ	ＳＴＮｅｔ	京セラ
ＦＤＫ	ＮＥＣソリューションイノベータ	ＫＤＤＩ
ＮＴＴデータ	NTT 西日本	ＪＲ東海
大垣共立銀行	秀英予備校	スズキ
京セラコミュニケーションシステムズ	ジャパンネット銀行	大日本印刷
サイバーエージェント	スルガ銀行	ダイフク
島精機製作所	スズキ	東芝
ＴＩＳ	全日本空輸	東芝テック
デンソー	デンソー	東洋エンジニアリング
豊田自動織機	電通国際情報サービス	富士通
トヨタ自動車	豊田合成	ＳＵＢＡＲＵ
ニフティ	名古屋鉄道	みずほ情報総研
パナソニック	日東電工	三菱電機
富士通	富士通エフサス	矢崎総業
三菱電機インフォメーションシステムズ	ヤマハ発動機	ヤマハ
ヤマハモーターソリューション　等	リョービ　　等	ヤマハ発動機　　等

近年の学部・研究科卒業生の主な就職先は左記の通りです。情報科学科では、大手情報通信産業や製造業が多く、情報社会学科では、公務員、銀行等金融業、製造業などが多くなっています。情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導を行い、学生が希望の職に就けるように支援しています。写真は、2017年12月に行われた「自己分析講座」の様子です。

自己分析講座（2017年12月7日）

平成 30（2018）年度　行事予定表

2018年

4月4日	入学式・保護者懇談会（新入生の保護者対象）
4月5日	ガイダンス（1・4年）
4月6日	ガイダンス（2・3年）
4月10日	前期授業開始
4月21・22日	新歓合宿（休暇村伊良湖）
7月30日	前期試験期間（～ 8月3日）
8月2日	TOEIC 試験
8月6日	夏季休業（～ 9月14日）
8月7日	夏季オープンキャンパス
9月15日	集中講義（～ 9月30日）
10月1日	後期授業開始
11月10・11日	静大祭・テクノフェスタ（浜松）
11月10日	保護者懇談会・個別面談
11月17・18日	静大祭（静岡）
12月24日	集中講義（～ 12月27日）
12月28日	冬季休業（～ 1月4日）

2019年

1月7日	授業再開
2月4日	後期試験期間（～ 2月8日）
3月20日	学位授与式・卒業祝賀会（浜松）
3月23日	学位授与式（静岡）
3月25日	春季休業（～ 3月31日）

お問い合わせ
〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL：053-478-1510・1511　FAX：053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.20 April2018

情報学部のウェブページをご覧ください。

情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。

http://www.inf.shizuoka.ac.jp/